

令和 5 年度国民保護訓練研修報告

主 催	札幌市(消防庁・北海道と共同)	千歳市
時 期	令和 5 年 8 月 4 日(金)	令和 6 年 1 月 2 5 日(木)
場 所	実動訓練：大通公園 図上訓練：札幌市役所	そなえーる
概 要	09:30 訓練開始 Jアラート伝達→避難呼掛け →市職員が地下街へ避難誘導 10:00 訓練一時中止 市役所会議室で意見交換 13:00 訓練再開 札幌市郊外に落下物有りとの 情報提供→落下物を確認 →緊急事態連絡室を設置 16:00 訓練終了	09:00 事前説明 訓練実施要領のほか、国民保護や NBC(特殊武器)の概要を解説 10:00 訓練開始(図上訓練～実態は ブレイン・ストーミング) Jアラート伝達→千歳駅前に着弾 との想定で市や関係機関等の行動 を検証 12:00 訓練終了
備 考	1 実動訓練時の避難者役は関係機関 や協力団体等からエキストラを動員 2 消防庁国民保護運用室長、北海道 危機対策課長が訓練に参加	1 図上訓練の進行は「状況付与→関係 機関による協議」を反復し、それぞ れの役割について逐次確認 2 市議会議員を始め研修者多数参加

札幌市の訓練の状況(1/3)

① Jアラート伝達前のエキストラの様子



② Jアラート伝達→地下街へ避難



札幌市の訓練の状況(2/3)

- ③頭部を保護しつつ、万が一の場合は衝撃に耐えられるよう低い姿勢でミサイル通過を待つ



札幌市の訓練の状況(3/3)

- ④「郊外に落下物確認」→緊急事態連絡室を設置して対応中
※対応要領は「弾道ミサイルを想定した札幌市初動対処マニュアル」に準拠



千歳市の訓練の状況(1/3)

①訓練会場(そなえーる 1 階)



千歳市の訓練の状況(2/3)

②状況に応じて市や関係機関等が対策を説明→質疑応答→認識を共有

※千歳市の説明内容は「弾道ミサイルを想定した千歳市初動対応マニュアル」に準拠



千歳市の訓練の状況(3/3)

③認識共有のため、決定した事項を地図上に表記して全員で確認



恵庭市の国民保護業務への反映

1 訓練実施に向けた準備

両市の訓練想定や訓練実施要領を参考にしつつ、次に挙げる事項を令和6年度に実施して、令和7年度以降は実動訓練を実施できるよう準備する。

(1) 市及び関係機関等による意見交換と認識共有

想定される各種事態の様相に応ずる市の体制(平素～緊急事態連絡室～国民保護対策本部)とこれに応ずる関係機関等の体制について、勉強会や現地研究等を通じて意見を交換し、それぞれが実施すべき事項の認識を共有する。

(2) 訓練構想の策定

市と関係機関等との間で共有された認識に基づき、各種事態の様相に応じて訓練すべき事項や実施時期、参加範囲等を整理して、概ね5年先を見通した中期的な訓練の構想を確立する。

訓練構想の策定に当たっては、初歩的な訓練から段階的に難易度を上げるよう着意する。

2 初動対応のためのマニュアル作成

訓練実施に向けた準備や訓練の実施を通じて、恵庭市国民保護計画に示す内容、特に事態の状況に応じた初動体制を迅速に確立するための具体的な手順を検討し、マニュアルとして整理する。